

型番：KP-MESHGP-RY



■仕様

電源 : DC3.3V (MESH-100GP 電源出力専用)
 消費電流 : 起動電流 約37mA
 : 定常電流 約18mA
 開閉負荷 : 最大30V 1A
 サイズ : 約24(W)×33(D)×11.6(H)mm (コネクタ・部品含)

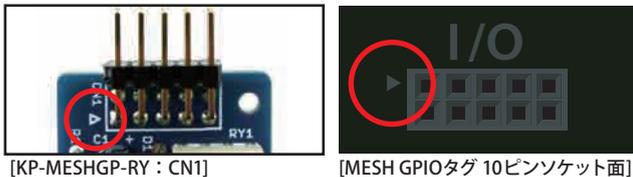
■はじめに

KP-MESHGP-RY(以後、本基板)は、ソニー MESHのGPIO タグ(MESH-100GP)に接続して使用するリレーモジュールです。
注意：本基板を動作させる場合、MESH-100GPが必須です。製品にはMESH-100GPや各MESHタグは含まれていません。別途お買い求めください。

■MESH GPIO タグとの接続

本基板のCN1にある▼マークと、GPIOタグの10ピンソケットにある▼マークに合わせて、まっすぐに接続します。(図1)

図1



[KP-MESHGP-RY : CN1]

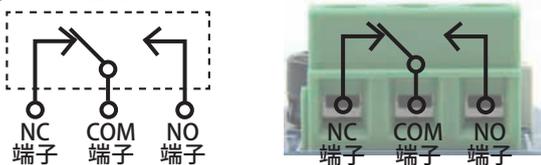
[MESH GPIOタグ 10ピンソケット面]



基板の部品実装面

GPIOタグ電源ボタン

図2 リレー出力端子



GPIOタグの電源ボタン側と本基板の部品実装面が同じ向きになっているのが正しい方向です。(図1)

【ご注意】

本基板およびMESH GPIOタグの10ピンソケットには逆差し防止機構はついておりませんので、前後逆に接続しないよう、よく確かめて最後まできちんと差し込んでください。

■使用について

本基板はMESH GPIOタグの3.3V電源出力を利用してリレーのON/OFF動作を行います。レシピからGPIOタグの電源をコントロールしてご利用ください。

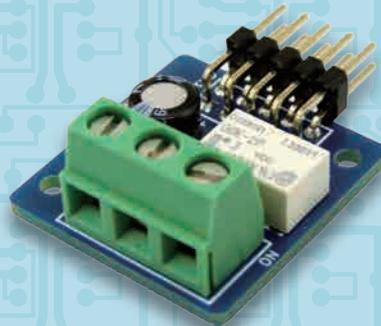
■リレー接点について

リレーの接点がONする動作は、一般的なスイッチをONにする操作と同じ働きをします。スイッチは人の手による操作に対し、リレーの場合は外部信号により操作します。本基板は、MESH GPIOからの信号でリレーの操作(ON-OFF)を行うものです。「スイッチをONにすると動作する」操作をMESHからの指令で行う場合は、端子台(CN2)の[NO端子]と[COM端子]を通常のスイッチの配線と同じ方法で接続します。また、通常は接点がつながっており、MESHからの指令でOFFにする場合は[NC端子]と[COM端子]を使用します。端子の名前は基板の表面および裏面に印刷していますが、表面にはCOMの印刷はありません。(図2も参照ください)

共立プロダクツ KYOHRITSU PRODUCTS

モジュール

第1版 20170126



MESH GPIOタグ用リレー基板

型番：KP-MESHGP-RY

■概要

本基板はMESH GPIO タグが出力する電源で動作するリレーボードです。MESH GPIOタグの電源出力のON/OFFに応じてリレーがON/OFFします。これにより MESHの電源指令を利用して、外部装置のON/OFFコントロールが可能です。

※MESH-100GPはソニー株式会社が販売するMESHシリーズのGPIO機能モジュール[MESH GPIOタグ]です。GPIO機能モジュールは外部コントロールや信号確認に使用できるI/Oモジュールです。

■一般的なスイッチの代わりに使用する場合

- 動かしたい対象とスイッチを結線して、希望する動作を行うか実験してください。
 ※この場合、MESHとは無関係な実験になります。この時点で希望する動作にならない場合は、本基板と結線しても動かす事はできません。
- スイッチにて正常動作を確認後、スイッチの配線を本基板のNO端子とCOMに接続替えしてください。
 ※図2を参考にしてください。

【ご注意】

リレーは機械式接点を持った一種のスイッチで、接続する負荷により接点の開閉時に大きなノイズが発生する場合があります。このノイズは、本基板のリレー接点を傷めたり、MESHを暴走させる恐れがあります。次の様な負荷を開閉する場合ご注意ください。トランスを使った機器、モータを使った機器、コンデンサが電源線に入っている機器、突入電流が大きい機器。

- 本製品はホビー用途向けに設計・製造されています。
- 生命や財産等に関わる重要な用途では使用しないでください。

• 本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
 • 本製品は組立キットまたは半完成品です。製作作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
 • 完成品でない商品の性格上、組み立て後の完璧な性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立業者)ご自身の責任のもとでご利用ください。
 • 本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っていません。また、本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

Electronic Devices, Parts, Kits & Robots
KYOHRITSU 共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所
 〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
 TEL: 06-6644-4447 FAX: 06-6644-4448

【“共立プロダクツ”ブランドとは】
 当ブランドの製品はユーザーニーズを捉えた製品をリーズナブルな価格でご提供を目指しています。そのためユーザーサポートはメールに限定しておりますことをご理解、ご了承ください。
 Email: wonderkit@keic.jp
 Twitterやblogで応用例や製品紹介を更新中です。ぜひご覧になってください。 共立プロダクツ 検索